



一般会計

5億3612万円の追加補正

12月定例会

会期
11月27日
～12月19日

吹上の中学2校の給食が
市直営に

7358万円の予算計上

吹上中学校と吹上北中学校の学校給食が、現在業務委託している富士電機の中にあるジー・エフ・フードサービスの都合により調理ができなくなるため、4月から鴻巣市中学校給食センターで調理を行うことになりました。

これに伴い備品購入費6600万円、同センター改修工事費410万円、その他車両購入費など、計7358万円が予算計上されました。今後は、現在あるスペースの中を有効活用し改良することによって、将来的には川里の中学校の分まで取り込んでも大丈夫な形態をとり、7つの中学校が同じ給食を食べられることをめざします。

また、小学校の給食は、地域により給食の形態に違いがあるため、早期に対応策を講じる必要があると考えています。

3億円を国民健康保険へ
繰り出し

歳入として、国庫支出金・療養給付費交付金・前期高齢者交付金の過不足調整を行い、共同事業交付金は交付見込額の追加、さらに、一般会計からの繰り入れを行います。歳出として、保険給付費の不足見込額追加、額が確定した後期高齢者支援金の減額、共同事業救出金の追加を行います。

一般会計からの繰り出し額は、3億円で、毎年増加の一途を辿っています。補正後の総額は、106億1681万3000円となります。

コミュニティバス3台購入

コミュニティバスの運行事業は、笠原、常光地区への新たな路線の導入、既存路線の見直し、運賃の改定など、平成21年4月を用途に大幅な見直し作業を行いました。

今回、コミュニティバス運行事業の見直しに伴い新たにコミュニティバスが2台必要となります。

また、現在川里コースで使用しているコミュニティバス1台が、老朽化により更新が必要であることから合計3台のコミュニティバスを購入



中学校給食センターでの調理

12月定例会は、11月27日から12月19日までの23日間で開催され、市長から46件の議案が提出されました。提出された議案は、吹上地域2中学校の給食再編事業費7000万円などの補正予算、国民健康保険への繰出金3億円、コミュニティバス及び川里地域土地購入の財産取得、条例改正、指定管理者の指定などです。さらに最終日には、市長・副市長・教育長の給料を10パーセント減額する議案が追加提出され、審議の結果、全議案とも可決をしました。



利用されるコミュニティバス フラワー号

します。

購入車両は、小型ノンステップタイプで長さが6メートル99センチ、幅が2メートル8センチ、高さが3メートル10センチ、乗降の扉は前後に2枚、定員が36名です。

購入業者は、プロポーザル方式により東京日野自動車株式会社熊谷支店が選考されました。

購入車両の取得金額は、3台で5578万2450円です。

コミュニティバス導入の目的は、今まで路線がなかった市域も含め、多くの方々に利用いただきたいということと公共交通サービスの拡大と均衡を図るために配備するもので、今後は市民ニーズに合わせて、あらゆる角度から検討し計画を進めます。

非農用地を広域交流拠点に購入

川里中央土地改良事業

川里中央地区において昨年度非農用地の約半分を購入しましたが、今回は隣接する残りの非農用地を購入するもので、川里地域における活性化や広域的交流施設の整備を行う計画であり、合併時の新市建設計画における、広域交流拠点整備事業として位置付けられた事業です。

この土地は、県営土地改良事業川

里中央土地改良事業で創設された非農用地で、所在は鴻巣市関新田字10番8538番、面積は14766.33平方メートル、購入金額は6940万1751円です。購入単価は1平方メートル当たり47000円です。

昨年度購入した土地は三角で不整形であったため1平方メートル当たりの購入単価は46000円でしたが、今回は四角で整形であるため1平方メートル当たりの購入単価は47000円です。

今後は、花をテーマにした交流広場、スポーツ広場、イベント広場など市民の要望や声を生かし投資効果が充分現れるよう計画を進めます。

三役の給料カット

市長・副市長・教育長

世界的に景気低迷が広がり、経済が減速する中、本市においても財政状況は厳しい状況下にあります。

来年度予算編成作業時において、税収減が見込まれることから財政非常事態宣言をし、市役所内部に「緊急対策本部」を立ち上げました。

このようなことから歳入歳出の見直し作業において、三役の給料月額を、平成21年1月から3ヶ月間10パーセント減額します。